

みずほCustomer Desk Report 2022/03/10号(As of 2022/03/09)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	115.89
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	115.74	1.0898	126.17	1.3102	0.7268
SYD-NY High	115.94	1.1095	128.44	1.3188	0.7337
SYD-NY Low	115.55	1.0890	126.13	1.3091	0.7265
NY 5:00 PM	115.85	1.1078	128.17	1.3187	0.7323
NY DOW	33,286.25	653.61	日本2年債	-0.0400	1.00bp
NASDAQ	13,255.55	460.00	日本10年債	0.1600	1.00bp
S&P	4,277.88	107.18	米国2年債	1.6737	7.40bp
日経平均	24,717.53	▲ 73.42	米国5年債	1.8791	10.38bp
TOPIX	1,758.89	▲ 0.97	米国10年債	1.9506	11.10bp
シカゴ日経先物	25,400.00	600.00	独10年債	0.1895	8.50bp
ロンドンFT	7,190.72	226.61	英10年債	1.5200	7.60bp
DAX	13,847.93	1,016.42	豪10年債	2.3160	8.50bp
ハンセン指数	20,627.71	▲ 138.16	USDJPY 1M Vol	7.10	▲ 0.75%
上海総合	3,256.39	▲ 37.14	USDJPY 3M Vol	7.03	▲ 0.68%
NY金	1,988.20	▲ 55.10	USDJPY 6M Vol	7.20	▲ 0.55%
WTI	108.70	▲ 15.00	USDJPY 1M 25RR	-1.15	Yen Call Over
CRB指数	292.087	▲ 17.03	EURJPY 3M Vol	10.58	▲ 1.14%
ドルインデックス	97.97	▲ 1.09	EURJPY 6M Vol	10.30	▲ 0.70%

【昨日の指標等】

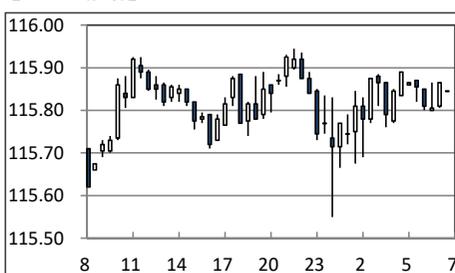
Date	Time	Event	結果	予想
3月9日	08:50	日	GDP(年率/季調済/前期比)・確報	4Q 4.6% 5.6%
	08:50	日	GDP(季調済/前期比)・確報	4Q 1.1% 1.4%
	08:50	日	GDPデフレーター(前年比)・確報	4Q -1.3% -1.3%

【本日の予定】

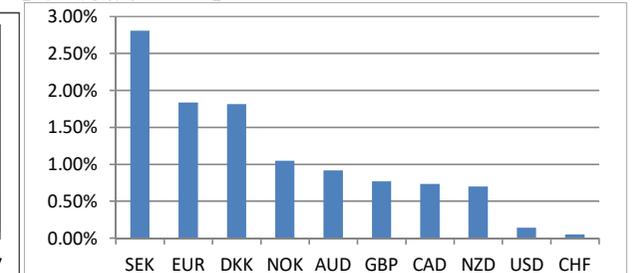
Date	Time	Event	予想	前回
3月10日	21:45	欧	ECB主要政策金利	10-Mar 0.0% 0.0%
	21:45	欧	ECB預金フアンリテイ・レート	10-Mar -0.5% -0.5%
	22:30	米	CPI(前月比/前年比)	2月 0.8%/7.9% 0.6%/7.5%
	22:30	米	新規失業保険申請件数	5-Mar 217k 215k

東京	東京時間のドル円は115.74レベルでオープン。プラス圏で寄り付いた日経平均株価を横目に、ドル円も一部で意識されていた115.80を超え、一時日中高値の115.92を付けた。午後に入り、アジア株が軟調に推移すると、日経平均株価も下落。ドル円もつれ安の展開となり、オープンと同程度の115.71レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は115.71レベルでオープン。欧州株や米長期金利が堅調に推移するも、ドル円の動きは限定的。21銭以内の小幅推移となり、115.85レベルでNYへ渡った。ユーロドルは1.0926レベルでオープン。欧州株や米長期金利を背景にリスク選好ムード。ユーロ買い優勢となり一時は1.0992まで値を上げるも、その後は若干値を下げ1.0986レベルにてNYへ渡った。
ニューヨーク	ニューヨーク時間のドル円は115.85レベルでオープン。本日は主要な米経済指標の発表が予定されていない中、朝方はドル売りが先行し115.55まで下落するが、ウクライナ大統領の側近がウクライナは外交的な解決の準備ができているとのヘッドラインも伝わり、UAEがOPECプラスに原油増産を呼び掛けているとの報道もあり、原油相場が大幅に下落する中、クロス円の買いに115.88まで戻す。午後は、ロア側が何も譲歩しないと話したことが伝わるがドル円は狭いレンジでの取引が続き、115.85レベルでクローズした。一方、ユーロドルは1.0986レベルでオープン。朝方はEU当局者がウクライナの加盟までには時間は掛かると話したことが伝わるが、ユーロドルの反応は一時的となるが、リスク回避の動きが後退したことからユーロドルはじり高で推移し短期的なレジスタンスと見られていた1.1050まで上昇する。その後は1.1012まで反落する局面もあったものの、正午頃になるとウクライナ大統領の「大統領同士でしか戦争を終わらせることはできない」と話し歩み寄りの姿勢を見せたことから、1.1095まで戻す。午後は、1.1070付近での狭いレンジでの推移が続き、1.1078レベルでクローズした。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	115.30-116.30	1.100-1.120	127.50-129.50

【マーケット・インプレッション】

東京時間のドル円は、日経平均株価の反発を受け、一部で意識されていた115.80を超え上昇。午後に入り、アジア株が軟調に推移する中、日経平均株価・ドル円も下落し海外時間に渡った。海外時間に入り一時115.55まで下落も、米金利の堅調な推移もあり115円後半の水準まで戻すと、結局115.85レベルでクローズ。

本日の注目はECB政策理事会であろう。米2月CPIの発表も注視されているものの、議会証言でのパウエル議長の発言からも3月の25bpの利上げは既定路線であり、サプライズにはなりにくいだらう。ECB政策理事会では資源価格の上昇に伴う世界経済成長の減速が意識される中ででの開催となるがタカ派な内容となればユーロの上昇という展開となるか。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松木・逸見